

## 2019 女子ハンドボール世界選手権（熊本県）の特別サポーターである元サッカー日本代表巻誠一郎さんを講師に迎えてフェアプレースクール in 宇城市立豊野小中学校を開催！

スポーツを「する」「ささえる」「みる・表現する」ための環境づくりを行う JSPO（正式名称：公益財団法人日本スポーツ協会 東京都新宿区／会長 伊藤雅俊）は、11月29日（金）熊本県宇城市立豊野小中学校にて、フェアプレースクールを開催しました。

フェアプレースクールとは、世界で活躍した元トップアスリートが、子どもたちにフェアプレーの精神や行動を伝えるため、全国の小中学校・特別支援学校などに訪問しフェアプレーについての講義とスポーツ体験授業を行う取り組みです。

当日は、熊本県で行われる2019年ハンドボール世界選手権の特別サポーターである元サッカー日本代表で2006年ドイツW杯出場経験のある巻誠一郎さんを講師に、同校小学6～中学3年生124人がフェアプレーについての講義、中学1,2年生55人が体験授業を学びました。

はじめに、代表生徒3名が自身が経験したフェアプレーエピソードを披露し、加入している部活動の中で学んだ「感謝」「思いやり」「仲間を信じること」といった内容のエピソードが発表されました。

続いて、巻氏によるフェアプレー講義を行い、講義後はサッカーを体験授業として行い、学んだフェアプレーをスポーツで実践しました。

スクールにゲストとして参観いただいたAKB48 チーム8の熊本代表である倉野尾成美さん（フェアプレイ応援団）にも、体験授業に参加いただくとともに、休み時間などには生徒と笑顔で接する姿が印象的でした。

スクール中は、終始子どもたちが笑顔で活発に活動していて、今後も、フェアプレースクールをはじめとする取組で「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンにご賛同いただき、全国にフェアプレーを広めていきます。



## フェアプレースクールを終えてのコメント

- ・巻誠一郎さん

フェアプレースクールを通して、他者を思いやる、助け合うといった思いを再確認しました。

- ・倉野尾成美さん

普段の活動と違い、学校のステージに1人で立つのはすごい緊張しました。本日のフェアプレーを通してより仲間が恋しく思いましたし、大切さを感じました。

- ・豊野小中学校本村由紀博校長

身近なことから始めることがフェアプレーに繋がっていくと思いますので、本日のような活動をぜひ色々な場所で広げていきたいし、広げていってほしいと思います。

### 【11月29日（金）フェアプレースクール 実施内容】

- ・フェアプレイ応援団（AKB48 チーム8）フェアプレー応援ムービー上映
- ・代表児童によるフェアプレイエピソード朗読
- ・講師講評～フェアプレーについて
- ・スポーツ体験授業

### <問い合わせ先>

公益財団法人日本スポーツ協会

ブランド推進部 マーケティング課 TEL : 03-6910-5804

ブランド推進部 広報課 TEL : 03-6910-5805

### ◆「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンとは

JSP0 では、スポーツを通じて育まれるフェアプレーが社会を元気にする人づくり・地域づくり・国づくりに必ず貢献できるはずと考え、世の中にフェアプレーの軸を浸透させるために2011年から「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンを行っています。

来る2020年を見据え、世界からも注目が集まる日本。フェアプレイ精神を広め、日本中がフェアプレーに溢れている社会を目指し、フェアプレーに溢れる社会となった日本で、世界中のお客様をお迎えしたい。そのためにもこの広がりをもスポーツ関係者に止めることなく日本全国にメッセージを発信していきたいと考えています。

公式サイト：<https://www.japan-sports.or.jp/fair/>

### ◆「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーン応援団 AKB48 チーム8 の活動内容

2017年に「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンの応援団に、AKB48 チーム8が就任しました。AKB48 チーム8には、フェアプレーの輪を広げるべく、公式サイトで公開されている応援メッセージ動画への参加やフェアプレースクールへの参加などの活動を行っていただいております。

## ◆JSPO が考えるフェアプレーとは

JSPO の考えるフェアプレーとは、「行動としてのフェアプレイ」と「フェアプレイ精神」、大きく分けてその2つです。

スポーツは、定められたルールのもと、対戦相手（記録）と競い合い勝利を目指します。スポーツを成立させるためには、「ルールを守る」、「審判や対戦相手を尊重する」、「全力を尽くして戦い、勝っても驕らず負けてもふてくされない」というフェアなプレーに徹しなければなりません。

しかしスポーツでは、どうしても勝ちたいという欲求の中で、自分の勝利を難しくするルールや、勝利という同じ目的を持って自分を阻もうとする相手を尊重しなければならないという、相反する厳しい状況におかれます。そのような中でフェアなプレーに徹するためのゆるぎない心（魂）が必要とされます。自分自身の心に問いかけた時に恥ずかしくない判断ができる心、それがフェアプレイ精神です。行動と精神は切り離せないもの。だからこそ、スポーツを真に楽しむ上でこの2つのフェアプレーは欠かせないものだと考えます。

## ◆JSPO（公益財団法人日本スポーツ協会）について

JSPO は、1911年7月に「国民スポーツの振興」と「国際競技力の向上」を目的に、大日本体育協会として創立。日本体育協会を経て、2018年4月1日、現在の名称となりました。

JSPO では、国民体育大会や日本スポーツマスターズなど各世代を網羅したスポーツ大会の開催、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどスポーツをする場の創出、スポーツの楽しみをサポートするスポーツ指導者の育成、最新の医・科学に根差したスポーツの推進など、誰もが自発的にスポーツを「する」「ささえる」「みる・表現する」ための幅広い事業を展開しています。また、わが国スポーツの統一組織として、国や60を超える競技団体、47都道府県スポーツ・体育協会など、様々なスポーツ関連団体・組織や個人と連携しています。

2019年の大河ドラマ「いだてん」で、主人公を導く重要な役回りとして登場する嘉納治五郎は JSPO の初代会長であり、JSPO は「いだてん」の舞台でもあります。

### 日本スポーツ協会 オフィシャルパートナー



大塚製薬

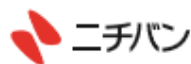


三井住友海上  
MS&AD INSURANCE GROUP

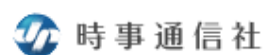
LAWSON

LOTTE

セレスポ



日本文化出版



フェアプレイで日本を元気に ~あくしゅ、あいさつ、ありがとう~  
目指せ100万人のフェアプレイ宣言！WEBで好評受付中！  
<http://www.japan-sports.or.jp/fair/>

